



Press Release

報道関係者各位

平成 19 年 12 月 13 日

株式会社ユビテック

(大証 HC 6662)

株式会社ソフトフロント

(大証 HC 2321)

IPA が SIP のセキュリティ向上に関する調査報告書を一般公開

～ユビテック・ソフトフロントが共同で調査研究に協力～

ユビキタスプラットフォーム事業の創生を目指す株式会社ユビテック（本社：東京都新宿区、代表取締役 荻野 司、以下「ユビテック」）と、技術を通して通信の未来と豊かな社会の実現を目指す 株式会社ソフトフロント（東京本社：東京都港区、代表取締役社長 阪口 克彦、以下「ソフトフロント」）は、独立行政法人 情報処理推進機構（所在地：東京都文京区、理事長 藤原 武平太、以下「IPA」）が発行（平成 19 年 12 月 5 日公開）した「SIP*」に係る既知の脆弱性に関する調査報告書の作成に協力を致しました。本報告書は、IPA のホームページから、どなたでもダウンロードすることができます。
(http://www.ipa.go.jp/security/vuln/vuln_SIP.html)

SIPは、通信事業者などの提供するIP電話サービスでの利用から普及が始まりましたが、現在では、世界中の通信事業者が固定通信と移動体通信を統合したマルチメディアサービスの実現を目指して移行を進め、日本でも来春には商用サービスの開始が予定されているNGN*₂の基幹ネットワークの中核技術として採用されるなど、通信事業者の提供するネットワークサービスにおいて益々その重要性が増大してくると言えます。また今後は、ビデオやゲームなどを含めたマルチメディア対応のサービスにSIPが活用されるなど、私達にとって更に身近な存在になると考えられます。

しかし、その一方で、SIP 関連機器に対する脅威も顕在化しています。IT セキュリティ教育機関である SANS Institute (本部：米国ワシントン DC) は【インターネットにおける脆弱性 TOP20】の中で SIP 関連の問題を報告しており、SIP を今後 IMS/NGN 等で使用する際にはセキュリティ対策が必須と考えられます。また、近年では家庭用ルータやセットトップボックス、IP 電話機などの組込機器における脆弱性も多数指摘されています。これらに共通して言えることは、出荷される製品への脆弱性対策が十分になされていない可能性があるということです。

このような状況を是正すべく、散在する SIP に関する既知の脆弱性情報を取りまとめた調査報告書が IPA から公開されました。

今回、ユビテックとソフトフロントは「SIP 脆弱性調査分析コンソーシアム」を結成し、通信事業者の提供する IP ネットワークサービスに熟知しており、SIP のみならずインターネットプロトコルについての知見を有するユビテックの持つ高度な情報セキュリティ対策の知見とソフトフロントの持つ SIP プロトコルスタック開発の知見を集約して調査を行い、本報告書の作成に協力いたしました。両社は共に、本報告書の公開により一人でも多くの方が安心してネットワークを利用できる一助になれば幸いと考えております。

ユビテックは今後も「いつでも・どこでも・誰でも」「安全・安心」にネットワークが利用できるユビキタス社会を創るための調査研究をたゆまず続けてまいります。

ソフトフロントは、社会変革の牽引役となり、豊かな社会を実現するため、今後も技術の研鑽に努め来るべきユビキタス社会に貢献してまいります。

*1 Session Initiation Protocol : IP 電話などで用いられる、通話制御プロトコルの一つ

*2 Next Generation Network : IP ネットワークをベースとした次世代の通信事業者のネットワーク

【本件に関するお問合せ先】

株式会社ユビテック 担当: 管理本部 経営企画課

電話: 03-3344-7511 FAX: 03-3344-7522

press@ubiteq.co.jp

株式会社ソフトフロント 担当: 経営企画室 広報担当 中村

電話: 03-3568-7007 FAX: 03-3568-7008

press@softfront.co.jp